

自分を守る！	ビジネスにつなげる！	社会貢献をする！
--------	------------	----------

02 役割やルールを決めている例 / その他の事例

1.	2. サプライ関連事業者	3.	4.
----	--------------	----	----

東日本旅客鉄道における「津波避難行動心得」	事例番号 012	東日本旅客鉄道株式会社
-----------------------	----------	-------------

■業種：運輸業	■取組の実施地域：東北、関東、東京
<ul style="list-style-type: none"> ● 東日本旅客鉄道株式会社では、東日本大震災発生以前より、津波対応マニュアルの作成、避難看板の駅への掲示、勉強会の実施や降車誘導訓練を行ってきた。東日本大震災では、在来線の5本の列車が津波により脱線し流されたが、列車内や駅にて津波被害にあった旅客はいなかった。 ● より一層の安全の確保に向け、これまでのルール、マニュアル及び訓練のあり方等について見直しを行い、津波到達まで時間的に余裕が無い場合において、避難を実施するにあたり、社員一人ひとりが取るべき行動指針として「津波避難行動心得」を制定した。 <p>【津波避難行動心得】</p> <ol style="list-style-type: none"> 一 大地震が発生した場合は津波を想起し、自ら情報を取り、他と連絡がとれなければ自ら避難の判断をする。 (避難した結果、津波が来なかったということになっても構わない。) 二 避難を決めたら、お客さまの状況等を見極めたうえで、速やかな避難誘導を行う。 三 降車・避難・情報収集にあたっては、お客さま・地域の方々に協力を求める。 四 避難したあとも、「ここなら大丈夫だろう」と油断せず、より高所へ逃げる。 五 自らもお客さまと共に避難し、津波警報が解除されるまで現地・現車に戻らない。 	